

令和3年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和3年6月18日（金）

午後5時30分～午後7時25分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

出席者：審査委員 土井委員長、大倉委員（事業番号3から）、鴻野委員、
齋藤（秀）委員、藤田委員、柴田委員、山形委員、種市委員、
齋藤（紀）委員、成田委員、外崎委員、一條委員、川村委員
市民協働課 高谷課長、村田課長補佐、工藤係長、田澤主査、小山主事、
比内主事、片岡主事

1 プレゼンテーション・審査会

<プレゼンテーション・審査方法>

- ・1事業ごとにプレゼンテーション・審査を実施。（審査は採点方式によって決定。）
- ・審査委員が申請団体に所属する場合は、プレゼンテーションから審査まですべて外れる。

1. プレゼンテーション …12分程度
(5分以内で事業内容の説明。残り時間で質疑応答)
2. 審査 …8分程度
(事業内容・金額について審議後、採点表に記入)
3. 採点結果発表 …採点表集計後、休憩ごとにまとめて発表

【審査項目】

審 査 項 目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

【審査採点】

区 分	評 価
高く評価できる	10点
「高く評価できる」と「普通」の間の評価	8点
普通	6点
「普通」と「あまり評価できない」の間の評価	4点
あまり評価できない	2点
評価できない	0点

【決定方法】

採択…出席委員の合計の平均点が60点以上、かつ、各審査項目の平均点が3点以上

《審査内容》

事業番号	2
事業名	BeeCome -やりたいが夢を運ぶ-
団体名	学生団体@ぼくらし next

【主な意見】

- ・学校の就職支援関連の部署などと連携し、大学の卒業生で活躍している方を講師として呼ぶのもいいのではないか。
- ・とても面白い企画だと思うが、弘前市民の税金を使い、弘前市民にどれほど還元されるのかというところがしっかり固まってないように感じられる。
- ・学生が自分たちの活動で地域を盛り上げていこうとしていることに関しては、応援したい。
- ・弘前を舞台にするイベントを考えるにあたり、学生同士でアイデアを出し合い、地域課題を解決するようなものとなるよう期待したい。
- ・動画編集操作を学ぶためのソフトの代金は学生には高額と感じる。無料体験版を活用してみるとよいのではないだろうか。

【採択結果】

合計点 64.2 点 \geq 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.7
合計		64.2

事業番号	3
事業名	学生シンポジウム -あなたのいいねが世界を変える。-
団体名	学生団体@ぼくらし next

【主な意見】

- ・トークセッションについて、例えば土井委員長のような方が進行役やアドバイスを言ってくれるような方が入ると充実したセッションができるのではないか。
- ・異文化交流や障害のある学生も一緒に参加できれば、より有意義なシンポジウムとなるのではないか。
- ・一回のイベントだけでなく、継続し、いろいろな結びつきを繋いでいくような取り組みになることを期待したい。
- ・学生だけの団体なので、事業を進めるうえで心配事があれば、大人に相談し、頼ってほしい。

【採択結果】

合計点 69.5 点 \geq 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		69.5

事業番号	4
事業名	NO WORK NO LIFE (WEBSITE)
団体名	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

【主な意見】

- ・デジタルに馴染みのない方に目を向けてもらうためにも、フライヤーや名刺などにQRコードを付けてサイトに誘因するなど、アナログ的なことも取り入れながら進めてほしい。
- ・ネットの中だけでなくいろんな人に会うことも重視し、その結果をサイトに掲載する形を発展させていくと内容が富んでいくと思う。また、子どもの悩み相談に答える際は、回答する人によって、その子の生き方まで変わってくるという点に注意して、運営していただきたい。

【採択結果】

合計点 74.2 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		74.2

事業番号	9
事業名	みんなのウォークラリー大会<建築物から弘前の歴史を紐といて歩こう>
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

【主な意見】

- ・健康づくりと地域学習とを組み合わせ、上手くゲーム的な要素も盛り込みながら、掛け合わせたい事業だと思う。
- ・歴史的建造物について説明する際は、資料を活用して間違いのないよう情報を伝えてほしい。

【採択結果】

合計点 73.7 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合計		73.7

6月18日審査結果（11事業のうち4事業）

採択とする事業 4事業
不採択とする事業 0事業

令和3年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和3年6月19日（土）

午前9時～午前11時50分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

出席者：審査委員 土井委員長、鴻野委員、齋藤（秀）委員、柴田委員、山形委員、
種市委員、金ヶ崎委員、齋藤（紀）委員、成田委員、外崎委員、
一條委員、川村委員

市民協働課 高谷課長、村田課長補佐、工藤係長、田澤主査、小山主事、
比内主事、片岡主事

1 公開プレゼンテーション・審査会

6月18日に引き続き審査

《審査内容》

事業番号	10
事業名	親方町まちあるきガイドマップ製作
団体名	Team 親方まち

【主な意見】

- ・自分たちの町が通過点になっていることではなく、「親方町はこんなに凄い」ということを前面に押し出すようなガイドマップであっていいと思う。
- ・今までのありきたりなガイドマップではなく、親方町の人を中心にしたり、お店ごとの特徴を、ガイドマップの中に盛り込んでいくと、普通の観光客だけでなく市民にも興味を持ってもらえるのではないかな。
- ・マップを作る時には、地域外の方の意見も参考にし、自分たちが気づかない、新たな魅力も盛り込められればよいのではないかな。

【採択結果】

合計点 72.2 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		72.2

事業番号	11
事業名	岩木山エコプロジェクト
団体名	岩木山観光協会

【主な意見】

- ・ポスターのイラストにインパクトがあって良いと思う。これまでエコ活動に興味のなかった子どもたちがイラストを見て啓発を受ける効果があるのではないかな。
- ・SDGsについて広く広報しながら岩木山を考えよう、という活動も視野に入れてみてはどうか。
- ・ポスターがすごく魅力的だと思う。イラストをグッズや絵本に発展させ、その活動の一部を事業の費用に充てることも考えてみてはどうか。

【採択結果】

合計点 87.2 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.0
合計		87.2

事業番号	5
事業名	poco a poco アートのたまご
団体名	アートワールドひろさき

【主な意見】

- ・ピアノの周りを囲んでマットに座って聴いたり、目からも耳からも、いろんなところから子どもが刺激を受けるという、なかなか無い事業だと思う。いろいろ工夫しながら、発展して行って欲しい。
- ・子どもたちのため、アーティストのみなさんのためにも、こういう機会を作っていただけのこと、素晴らしいことだと思う。

【採択結果】

合計点 79.7 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		79.7

事業番号	7
事業名	DOG FES IWAKI 実行委員会
団体名	DOG FES IWAKI 2021

【主な意見】

- ・これまでの実績や申請内容を見ると活動が豊かで安定しており、さらに活動を分析し自立に向けても具体的に考えられている。また、団体やイベントの運営についてもよく練られており、非常に感銘を受けた。応援したいと思う。
- ・飼い主同士の繋がりや深まりから、新しい地域コミュニティや、そこからいろいろな可能性が出てくるのではと感じた。

【採択結果】

合計点 78.5 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		78.5

事業番号	1
事業名	第2回 小・中・高生ひろさき短歌大会
団体名	弘前市歌人連盟

【主な意見】

- ・学校をまわり、熱意を持って事業の周知に努めることは素晴らしい。
- ・コロナ禍が落ち着き修学旅行生が弘前を訪れた際、「城下町を巡って短歌を作る」というようなコンテンツを目指してほしい。
- ・継続して実施し、何年か後にこれまでの作品で歌集やかるたなどを作れたら面白いと思う。
- ・学校の先生方にもニーズがあり、子どもたちも表現の機会となり、双方にメリットがあることで事業が成功するのではないかと。

【採択結果】

合計点 80.7 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合計		80.7

事業番号	6
事業名	田んぼ鉄道ラッピング列車 運行作戦
団体名	ひろさき地域活動応援隊 FUYAKU

【主な意見】

- ・高校生ワークショップの開催場所について、駅に出来た「津軽ラウンジ」の活用も検討してみてもどうか。
- ・今後も、例えばラッセル車を活用した企画や鉄道に興味のある人向けの企画など、次々新しい企画をやってもらえると嬉しい。
- ・地域のいろんなイベントと繋げる役割となっていたきたい。

【採択結果】

合計点 71.0 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.0
合計		71.0

事業番号	8
事業名	十面沢お山の会（お山参詣）
団体名	十面沢お山の会

【主な意見】

- ・一般の方が参加できる体制を作ることができれば人は集まり、その中からお囃子をやってみたい人も出てくると思うので、1%システムを活用して、取り組んでみることも検討しても良いのではないかな。
- ・例えば子どもたちが高校を卒業するとユースのグループへ移行し、次の子どもたちを指導する立場に自分たちになるというケースもある。このような仕組みだとずっと継続していけるのではないかな。
- ・この活動を一年のサイクルでドキュメンタリー映像として記録を残せば、今後のコミュニケーションツールとして大きな武器になるのではないかな。
- ・ぜひ自分たちでお囃子を継いでいくというところを目指して欲しい。

【採択結果】

合計点 78.2 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合計		78.2

6月19日審査結果（11事業のうち7事業）

採択とする事業 7事業
不採択とする事業 0事業